

五雲会

平成三十一年二月十六日(土)

開演 十二時(正午)
開場 十一時
於 宝生能楽堂

演目の解説

能「西王母」(せいおうぼ)
周の穆王の時代の都、人々が平和な御代をたたえている時に、桃の枝を肩にした美しい女が皇帝の前に現れます。女は、これは三千年に一度だけ咲き実生る桃で、今めでたいこの御代にこそ誠に相応しい物と皇帝に捧げ、我が身は西王母の分身であると名乗り、今度は桃の実を捧げましようかと去って行きます。その後、侍女に桃の実を持たせた西王母が現れ、皇帝にその桃の実を捧げ、美しい舞を舞います。

狂言「鐘の音」(かねのね)
主人は成人した息子に黄金(こがね)造(づく)りの太刀を作つてやろうと、太郎冠者に鎌倉へ行つて「金(かね)かね」の値(ね)を聞いてこいと命じます。太郎冠者はこれを「鐘の音(かね)ね」と勘違いして、鎌倉の寺々をめぐる歩き、鐘楼堂の鐘をついて音色を聞き比べて帰宅します。さつそく主人に報告すると……。それぞれの鐘の音は演者が口で言い、その擬音語は巧みで様々に工夫されています。

13:10

西王母

子方内藤 瑞駿
シテ藤井 秋雅

ワキ梅村 昌功

ワキツレ大日方 寛

御厨 誠吾

間上杉 啓太

大鼓 大倉栄太郎
小鼓 森 貴史
太鼓 梶谷 英樹
笛 栗林 祐輔

13:10

鐘の音

後見

宝生 和英
藤井 雅之
藪 克徳

地謡

木谷 哲也
金井 賢郎
金野 泰大
辰巳 大二郎

和久莊太郎
小倉健太郎
小倉伸二郎
佐野 玄宜

野村拳之介

野村 萬

13:50

花月

シテ小林 晋也

ワキ安田 登

大鼓 佃 良太郎
小鼓 曾和伊喜夫

笛 小野寺竜一

間野村万之丞

〱休憩十五分〱

後見
小林与志郎
高橋 亘

地謡

辰巳 和磨
川瀬 隆士
金森 良充
佐野 弘宜

渡邊 茂人
東川 光夫
佐野 登
東川 尚史

14:55

船橋

ツレ朝倉 大輔
シテ内藤 飛能

ワキ御厨 誠吾

ワキツレ大日方 寛

間能村 晶人

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 鳥山 直也
太鼓 澤田 晃良
笛 熊本俊太郎

後見
金森 秀祥
野月 聡

地謡

上野 能寛
今井 基
金森 隆晋
當山 淳司

高橋 憲正
佐野 由於
金井 雄資
澤田 宏司

終演予定 十六時十分頃

次回予告

平成三十一年三月十六日(土)
正午始

籠 川瀬 隆士

祇 王 東川 尚史

海 人 小倉健太郎

能「船橋」(ふなばし)
旅の山伏が上野の国佐野の船橋へやつて来ると、里の若い男女に会います。二人は橋の建立のために勸進をしています。謂れを尋ねられた二人は、昔この橋を通い路として逢引きをしていた男女があつたが、そのことを嫌う両親に橋げたを外され、男が落ちて死んだという物語を詳しく語り、夕闇の中へ去って行きます。その夜、供養をする山伏の前に成仏を願う女と、執心のために悪鬼となつた男が現れ、死んだ時の様子を再現し、成仏出来た事を喜び去って行きます。